

リニューアルオープンでの校外学習案内ガイド

<先生方のための校外学習下見見学のための資料>

千葉市立郷土博物館は、11月にリニューアルオープンをしました。今回のリニューアルでは大きく展示内容が変わります。以下の展示内容の説明と、子供たちを引率する時の見学の仕方をお知らせします。この説明を事前によくお読みいただき、より良い見学学習ができるような参考にしてください。

1 郷土博物館リニューアルオープンの展示テーマ

—「陸と海・人とモノを結ぶ『千葉』」—

<常設展示の構成>

「原始・古代」「中世」「近世」「近現代」という4つの時代区分を設定して、原始から現代にいたるまでの千葉市の通史の展示を実現しました。また、4つの時代区分の間に「変わりゆく時代」の展示も設けることによって、新しい時代を切り開いていくこうとする千葉の人々の営みに光を当てて、千葉市の歴史が躍動する姿を、より身近に感じてもらえるようにしました。

2 郷土博物館リニューアルオープンの展示の特徴

①各時代区分の展示場所

- ◆入館して1階からエレベーターで最上階の5階に上がる。
- ◆そこから1階ずつ階段で下りながら展示を見ていただくようになっています。
- ◆そのようにすれば、千葉市の歴史を古代から現代まで順番に見ていくことができるるので、より千葉市の歴史が理解しやすくなると思います。



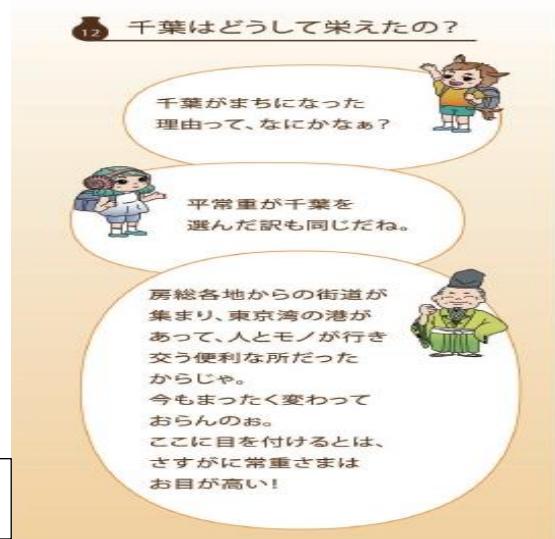
②千葉介ナビで楽しく学ぶ！ここでしかできない体験

各階に設置した「QRコード」を読み込むと、資料解説や記念撮影などのコンテンツが楽しめます。



また各階には、当館のオリジナルキャラクター3人の「千葉介」や「きさごちゃん」や「のまくん」が展示を案内してくれます。

千葉介ナビの例



③ダイナミックラインに沿って千葉がわかる

今回の展示では動線をはっきりさせるために展示の順路にラインを引いています。そのラインに沿って、見学していただければ、通史展示を順番通りみられるようになっています。

これをダイナミックラインと呼んでいます。このラインは時代ごとに色を変えて、原始・古代は赤、中世はオレンジ、近世は青、近現代は緑となっています。その間の「転換期」は双方の色がまじわって表現されています。また、それぞれの色は千葉の「葉」の色の四季の変化をあらわしています。

3 学校の日常の授業にどのように生かしたらよいか

①校外学習全般に言えることでしょうが、見学に来る時に子ども達自身が自分のなりのしっかりととした目的意識「めあて」を持っていると、より効果的な学習になると思います。

つまり、教師にとっては校外学習前の事前指導が重要であると考えられます。

②展示物の解説文は、各時代別の**大項目**とその下に**中項目**、さらに詳しい**小項目**の三段階でできています。各解説文はできるだけ読みやすくなるようにしました。また、小学校4年生以上で習う漢字が初めて出てくる時は「ふりがな」を付けています。児童にはかなり読みやすくなっていると思います。

③校外学習を生かすことができる3年～6年生までの「千葉市小学校社会科指導計画」の単元事例
(以下、当館の見学順1階・5階・4階・3階・2階にそって並べました)

学 年	館内展示場所と関連する学習単元
3年生	1階ラウンジ・歴史の楽しさを学ぶ虎の巻 5階しば一望ラウンジ・展望風景や空撮グラフィック、千葉市歴史年表 2階近現代の展示・中央区・美浜区のうめ立て前の歴史とうめ立て後の様子
4年生	1階ラウンジ・歴史の楽しさを学ぶ虎の巻 5階千葉市周辺のランドサット写真・千葉県の地形とその周辺の都道府県の地図 3階中世展示・千葉県の伝統的行事「千葉神社の妙見大祭」 2階近世展示・地域の発展につくした人々「青木昆陽」「印旛沼の開発」 2階近現代の展示・千葉市の花「オオガハス」
5年	1階ラウンジ・歴史の楽しさを学ぶ虎の巻 5階しば一望ラウンジ・展望室からの千葉港の風景 5階千葉市周辺のランドサット写真・千葉県や関東地方の地形と地図
6年生	1階ラウンジ・歴史の楽しさを学ぶ虎の巻 5階千葉市周辺のランドサット写真・千葉県や関東地方の地形と地図 4階原始・古代展示・「いにしえチバウォール」縄文時代や弥生時代の千葉とそのルーツ ・日本の在来馬を等身大で再現した復元模型 3階中世展示・「千葉氏シアター」千葉氏500年の歴史、ゆかりの地などを4つの映像で紹介 ・「中世まちなみグラフィック」千葉氏が暮らした中世の千葉を、そこで暮らし た人々の姿を、当時をしのばせる史跡などから紹介 2階近世展示・「五大力船1/4スケール復元模型」江戸時代に活躍した全長3メート ルの迫力ある五大力船の復元模型

*館外の亥鼻公園も見学する予定の学校の先生方は、事前にお知らせください。資料をお配りします。

*見学する上での児童・生徒に対する諸注意は、下見当日にお話しします。また、児童用の見学ガイドにも記載しております。ご活用よろしくお願ひいたします。